

# 第 8 章

## 電気・ガス・上下水道

## 第 8 章 電気・ガス・上下水道

### 電気

平成 21 年度における電灯需要の契約口数をみると、509 万 6230 口にのぼり、前年度の 507 万 7719 口に比べ 0.4%(1 万 8511 口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が 439 万 2825 口(前年度比 0.3%増)となっている。また、使用電力量は 2015 万 7392MWh で、前年度に比べ 1.2%の減少となり、1 口当たりの年間使用量は 3955kWh(前年度比 1.5%減)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 42 万 1474 口で、前年度に比べ 2.0%の減少となった。使用電力量は 24 億 1106 万 2 千 kWh となっている。

### ガス

平成 21 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 57 億 3013 万 m<sup>3</sup> で、前年度の 59 億 1975 万 m<sup>3</sup> に比べ 3.2%の減少となった。

また、消費量は 37 億 6577 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 5.4%の減少となった。これを内訳でみると、工業用が 16 億 8263 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 10.2%の減少となり、商業用が 5 億 4296 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 3.9%の減少、公用が 1 億 5790 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 5.9%の減少、医療用が 1 億 6666 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 0.2%の減少となり、家庭用が 12 億 1788 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 0.1%の減少となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 394 万 7868 戸で、前年度に比べ 0.6%の増加となっている。

### 上下水道

・上水道 平成 21 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 11 億 7737 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 1.7%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 4168 万 m<sup>3</sup> で、全体の 37.5%を占めている。

栓数は 322 万 4121 件で、前年度に比べ 0.3%の減少となっている。

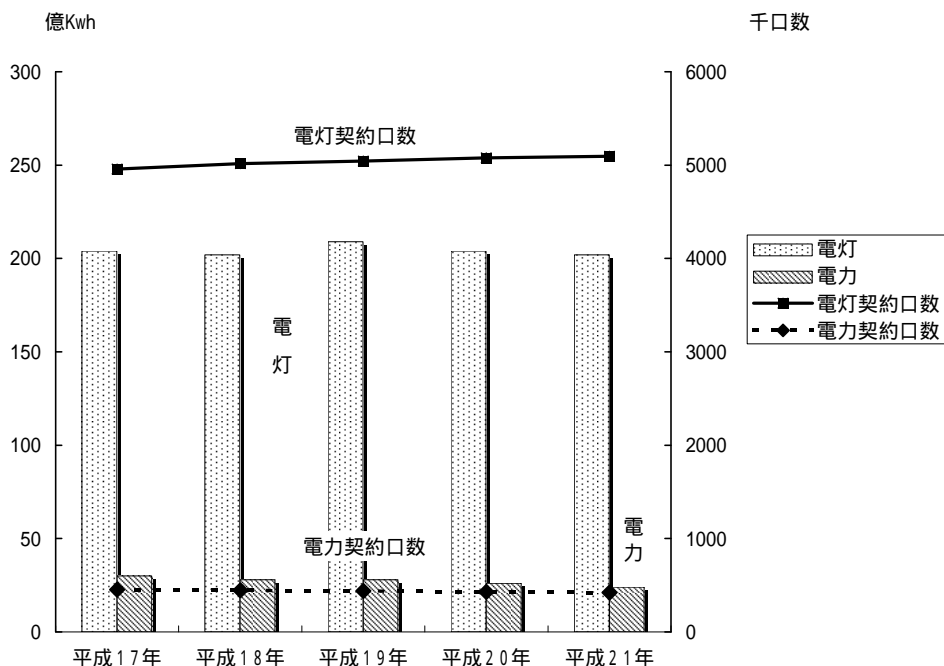
また、1 人 1 日平均給水量は 330 で、前年度に比べ 1.2%の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 447 で、以下、泉佐野市の 411 、岬町の 375 の順となっている。

工業用水の使用状況をみると、1 日当たりの総使用量は、前年比 4.5%減の 563 万 4323m<sup>3</sup> となっている。

このうち、淡水の使用量は 466 万 8018m<sup>3</sup> で、前年に比べ 4.6%の減少となっており、全体の 82.8%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の 87.4%を占めており、その内訳は、石油・石炭が 40.6%、鉄鋼が 25.3%、化学が 23.3%と、この 3 業種で回収水全体の 89.2%を占めている。

・下水道 府内における平成 21 年度末の下水道の普及率をみると、整備人口が 93.7%で、前年度より 0.5 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 100%で、全域に普及している。

### 使用電力量・契約口数の推移



### 地域別都市ガス消費量の構成比 (平成21年度)

